



共に向上

令和6年3月1日
岐阜市立島中学校

「自己肯定感」と「自己有用感」の大切さ

今年度も、あと1ヶ月となりました。保護者の皆様には、学校教育に関しましてご理解とご協力をいただきありがとうございました。地域の皆様には、中学生が地域の一員として活躍できる場を提供していただきありがとうございました。

さて、島中学校では生徒一人一人が「主体性をもつこと」「主体的に行動すること」を大切に学校運営を行ってきました。その理由は2つあります。

- ①「主体性」や「主体的」には、生徒自身の中に「目的」が存在している。
- ②「もっと〇〇してみよう」といった、新たな目標設定が次への活力に繋がる。

例えば、授業でのペアや学習グループでの交流では、交流の目的やねらいに従って、生徒間で活発な意見交流が行われます。自分の考えや意見を仲間に伝える中で「賛同や称賛（自己肯定感）」を受けることで自信をもつことができたり、自分の考えや意見を聞いた仲間が、「新たな考えや意見を見いだす（自己有用感）」ことができたりしたことが充実感につながり、更に頑張ろうという思いになります。



ここ数年で参加者数が増加しているボランティア活動では、参加したいと手を挙げた時点で地域（学校）の役に立ちたいという目的があります。その思いは素晴らしいことです。当日は、地域（学校）のために一生懸命取り組みます。そんな姿に対して、地域の皆様から「ありがとう」といった労いの言葉をかけていただけます。そのことが、「参加して良かった（自己肯定感）」「自分の姿が役に立つことができた（自己有用感）」といった達成感を得ることができるからこそ、参加者が増えていると思います。



中学生という年齢は、子どもから大人へと心身共に成長する時期です。保護者の皆様からお子さんを見た時に、歯がゆく感じたり頼もしく感じたりすることもあると思います。保護者として注意すべきことがある場合は、毅然とした態度で指導することが必要です。頑張っている姿が見られた場合には、褒めてあげてください。その際には、「どんな点が良かったのか」を添えて話していただけると、「頑張って良かった（自己肯定感）」や「家族のためになった（自己有用感）」という思いが満たされ、お子さんの中にやる気が満ちてくると思います。

※自己肯定感…自らの在り方を積極的に評価できる感情、自らの価値や存在意義を肯定できる感情

※自己有用感…自分自身が、誰かの役に立っている、貢献している等、自分が有用であると思える感情

教頭 長沼 正

卒業式について

卒業式を、3月8日に举行します。3年生の皆様には、1月19日にスマート連絡帳でお伝えしたとおりです。教育委員会から、対応に関する指示がありましたらその都度スマート連絡帳に配信します。よろしくをお願いします。

【学校の教育目標】 志をもち 共に向上する

○ 校内放送の映像を彩るカレンダープレートの制作

いきいき学級（特別支援学級）では、一人一人の特性に合わせた学習カリキュラムに沿って、様々な学習や体験活動が行われています。その中のひとつが、美術の時間に行われている制作活動ですが、今年度は、カレンダープレートを制作しました。これは、校内放送で話す人の背景のホワイトボードに貼ることで、映像に彩を添えるためのものです。いきいき学級の生徒8人が、その季節に合った風景や食べ物を話し合っテモチーフを決め、分担して絵を描き、ジグソーで切り抜き、着色まで行ったものです。どの作品も細かなところまでこだわり、長い制作時間をかけて、今回の完成となりました。

生徒たちは、「木を切り抜くところが一番難しかったけれど、楽しくできました。」と嬉しそうに話してくれました。



○ 学校の取組について教えていただきました

2月9日（金）に学校運営協議会を行いました。

今回は、校長より学校の状況報告と保護者の皆様から頂いた「学校評価」についての説明を行い、その後、委員の皆様からご提案やご意見をいただきました。

- ・小中の交流で、学習に関して実施したことは意味深い。小中の先生が同じ意識を持って授業を行うことは子どもたちの力になっていく。
- ・地域に目をやる活動を各団体と共に今後も積極的に実施し、いざというときに地域の力となれる中学生の意識と力を育てて欲しい。



今回、頂いた意見を来年度の学校運営に生かしていきたいと思ひます。島中学校のためにご尽力いただきありがとうございます。今後もよろしくお願ひします。

○ 卒業に向けた準備・後輩につなぐ「感謝活動」

2月13日（火）、3年間お世話になった校舎、教室、備品に感謝の気持ちを表す、3年生による感謝活動が行われました。今年、運動場の倉庫内、美術室の道具磨きを行いました。また、1、2年生のために自転車置き場や配膳台の清掃にも取り組みました。

「この活動があるといよいよ卒業だと実感します。後輩たちのために先輩として思いを残せた気がします。」と話していました。



○ たくさんのお力添えをありがとうございました

新型コロナウイルス感染症対策のための制限もほぼ解除され、いくつかの学校行事や地域行事が形を変えて実施されるようになってきました。今年度も地域の方、保護者の皆様には、様々な場面でお力添えをいただきました。

島中ウィーク（授業参観）や体育大会では、多くの保護者の方にご来校いただき、お子さまの姿を参観していただきました。また地域では、各行事でのボランティア活動をたくさん計画し、生徒たちが活躍できる機会を作っていただきました。来年度も、保護者や地域の方々と一緒に、子どもたちを育てていく教育活動を計画していきますので、何卒、お力添えをよろしくお願ひします。